⚠注意 ●お手入れは、必ず電源を切り、本体が冷えてから行う。

オーブンドア・受皿・焼網の取り外しかた

1 とってを両手でしっかり持ち、ゆっくり止まるまで引き出す

受皿内の脂などをこぼさないように注意してください。

2 焼網と受皿を外す

3 とっての下側に手をまわし、オーブンドアバネを軽く引き下げる

オーブンドアバネを押さえずに無理に外すとオーブンドアが破損したり、変形することがあります。

ご注意

オーブンドアを押し倒して外さないでください。オーブンドアが破損したり変形することがあります。

4 オーブンドアを本体側へ倒すようにし、左右2箇所のツメを外す

オーブンドア・受皿・焼網の取り付けかた

1 オーブンドアを本体側へ倒すようにし、レール側のツメ2箇所をオーブンドア下部の角穴に差し込む

2 オーブンドアを手でささえ、垂直に起こしながらはめ込む

カチッと音がしてオーブンドアが固定されます。

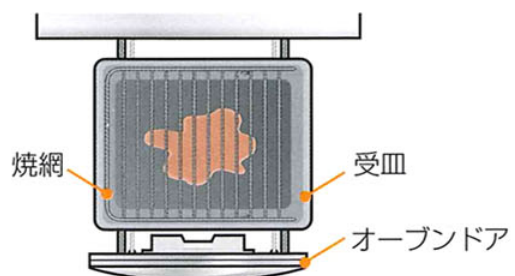
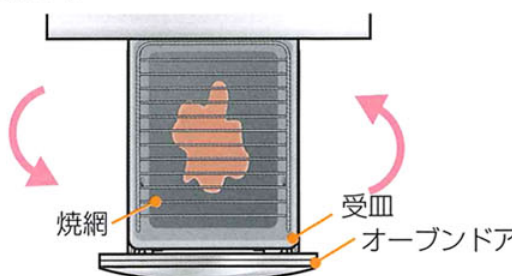
3 受皿と焼網を載せる

焼網は、支え部を手前にして受皿にセットしてください。焼網を逆に入れるとヒーターに当たってドアが閉まりません。

4 オーブンドアは本体の前面に当たるまで押して閉める

脂や汁がたまっている受皿の取り外しかた

①脂や汁がたまっている受皿の両側をしっかり持ち、ゆっくりこぼれないように90度回転させます。

②受皿の脂や汁がこぼれないようにゆっくり持ち上げて外してください。

オーブンドアのお手入れ

薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。

お願い
- ●たわし・みがき粉は使用しないでください。（表面を傷つけます。）
- ●オーブンドアは、食器洗い乾燥機や食器乾燥器には入れないでください。（樹脂部が変形します。）

受皿・焼網のお手入れ

薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。

お願い 受皿・焼網のフッ素加工を傷めないでください。

- ●たわし・みがき粉は使用しないでください。（表面を傷つけます。）
- ●金属製のたわし・スポンジのナイロン面でこすらないでください。フッ素加工に傷が付いたりはがれたりすることがあります。また受皿の裏面を傷つけます。
- ●受皿・焼網は食器洗い乾燥機に入れたり、アルカリ性の洗剤を使ったりしないでください。
- ●ご使用のたびにお手入れしてください。
  汚れがこびりつくと調理物が取りにくくなることがあります。
- ●受皿・焼網は消耗品です。フッ素加工が傷んだ場合は、お買い上げの販売店でお買い求めください。（➔P.5）

オーブン庫内のお手入れ

庫内クリーニングをご使用ください。オーブン庫内の油汚れを乾燥させ、においを軽減することができます。

準備 焼網・受皿を取り外し、オーブンドアを確実に閉める。前面操作パネルを開く

1 電源 切/入 を「ピッ」と鳴るまで押し、**電源を入れる**（ランプが点灯します）

2 時間 ◀（クリーニング3秒押し）を3秒押し、**表示部に「CL」を表示させる**

3 切/スタート を押し、**通電する**

メロディーが鳴ったら終了です。

4 続けて使わないときは 電源 切/入 を押し、**電源を切る**（ランプが消灯します）

ご注意
- ●においを軽減しますが、汚れは除去できません。
- ●クリーニング中は、オーブン庫内の油を焼き切るため煙が出る場合があります。必ずレンジフードを使用してください。

ご注意
- ●オーブン庫内に落ちた食品カスなどは、オーブン庫内が冷えてから手袋などをして取り除いてください。
- ●オーブン庫内は金属部が数多くありますので、やけどやけがに十分注意してください。

クリーニング中は表示部に CL を表示します。約11分で終了します。

●庫内の温度が約80℃以下になるまで「**高温注意**」表示をします。

故障かなと思ったら

故障かなと思ったら、次のことをお調べください。

電源について

現　象	原　因
通電しない。	●専用ブレーカーが切れていませんか。 専用ブレーカーを入れてください。 ●電源が切れていませんか。（電源ランプが消えている。） 電源を入れてください。 • 電源をブザーが鳴るまで押してください。 • 電源ランプが点灯します。 ※電源を「入」の状態で約30分放置するとオートパワーオフ機能が働き、自動的に電源が切れます。 ●チャイルドロックが設定されていませんか。 チャイルドロックを解除してください。➔P.36 ●左･右･中央ヒーターで使える鍋を使用していますか。 （使える鍋について ➔P.12 ）
使用途中にヒーターの通電が停止した。 （切り忘れ防止自動停止機能）	●切り忘れ防止自動停止機能が働いています。 各ヒーターに一定時間経過すると自動的に通電を停止する、切り忘れ防止自動停止機能が設けられています。 • 左･右･中央ヒーターは操作後約45分 • オーブン（手動調理）は約30分 • トーストは約10分 • 適温サインは適温表示後約15分 切り忘れ防止自動停止機能が働いた時はメロディーでお知らせします。再度、通電をスタートしてください。
液晶表示の火力バーが交互に点灯し、約30秒後に消灯した。 （小物検知自動停止機能、鍋無し自動停止機能）	●鍋をヒーターの中央に置いていますか。 ●使えない鍋を置いていませんか。➔P.12 使える鍋を置いてください。 ※図は火力「7」で使用した場合。 約30秒後、メロディーが鳴り、液晶表示が消え、通電を停止します。 ※付属の天ぷら鍋で確認しても同じ場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。
使用途中に停電になった。	●通電中のヒーターは停止し、タイマーも取り消されます。 ●電源を入れ、もう一度操作を初めから行ってください。 • 電源をブザーが鳴るまで押してください。 • 電源ランプが点灯します。 ⚠警告 トッププレートやオーブンドアおよび庫内など高温部に触れない

火力について

現　象	原　因
アルミ鍋、アルミフライパンを使うとずれたり浮く感じがする。 （C20Tシリーズ/C10Tシリーズのみ）	●IH加熱での「磁力の反発力」が鍋を浮かそうとするためです。鍋と調理物の重さを合わせて約1kg以上にしてください。 また、トッププレート・鍋底がぬれているときに動きやすくなるので、使用前にふいてください。
アルミ鍋、アルミフライパンは火力が弱くなるものがある。 （C20Tシリーズ/C10Tシリーズのみ）	●特に片方にとってがある、重量が軽いフライパン・片手鍋・雪平鍋はバランスが悪く動いたり火力がかなり弱くなるものがあります。調理物と合わせて約1kg以上にしてお使いください。火力の低下が大きい場合は、ふたをして低めの設定火力で調理してください。アルミ両手鍋は、鍋が変形しやすいので炒めものや空だきをしないでください。（使える鍋について ➔P.12 ）
ステンレス板を底部に貼り合わせたアルミ鍋を右ヒーターで通電すると火力が弱くなることがある。 （C20Tシリーズ/C10Tシリーズのみ）	●多数の穴が開いたステンレス板を底部に貼り合わせたアルミ鍋のステンレス板の面積が直径12cmの面積(約113cm²)に満たないとアルミの小鍋と判断して火力が弱くなることがあります。 （使える鍋について ➔P.12 ）
鍋底の直径が小さかったり、鍋底が反っている鍋は火力が弱くなることがある。	●ホーロー・ステンレス製の鍋については鍋底の直径が左・右ヒーターの場合は12～26cmのもの、中央ヒーターの場合は12～20cmのもので、鍋底の反りが3mm以下のものをご使用ください。アルミ･銅鍋については鍋底の直径が15～26cmのもので鍋底の反りが1mm以下のものをご使用ください。（使える鍋について ➔P.12）
左･右･中央ヒーターで火力が違う。	●同じ鍋でも、左・右・中央ヒーターで火力が異なる場合があります。また小さい鍋では、通電できる場合とできない場合があります。
炒めものなどを行うと左･右･中央ヒーターの火力が弱くなることがある。	●炒めものなどを行うと、鍋底温度が上がり、自動的に火力をコントロールする場合があります。温度が下がると自動的に火力が強くなるので、そのままご使用ください。
左･右･中央ヒーターでの調理に時間がかかる。 調理のできあがりが遅い。	●鍋底に異物が付着していたり、トッププレートが汚れていませんか。 鍋やトッププレートのお手入れをしてご使用ください。 ●使える鍋を使用していますか。➔P.12 使える鍋を使用してください。 ●アルミ･銅鍋などは鉄･磁性ステンレスなどと比べて、火力が約20～30%弱くなります。

故障かなと思ったら（つづき）

	現　象	原　因
音について	電源を入・切すると「カチャ」と音がする。	●電源を入・切すると、内部電気部品のスイッチの動作音がします。
音について	電源を切っても音がする。	●電源を「切」にした場合でも継続して冷却ファンが回りますが、異常ではありません。本体内部の回路を保護するために、キー操作後冷却ファンが必ず約10分間動作します。 自動的に冷却ファンは止まります。
音について	使用中にファンの音が大きくなったり止まることがある。	●本体内部を冷やすために冷却ファンの回転を設定火力に合わせて変えています。設定火力が大きい場合は冷却ファンが高速回転するためファンの風切り音が大きくなります。
音について	左・右・中央ヒーター使用中に鍋から音がする。	●鍋底が薄い鍋や多層鍋、ホーローの密着が良くない鉄ホーローなど鍋の種類によっては音（ジー音、カチカチ音）や共鳴音（キーン音、キューン音）が発生することがあります。また鍋のとってに振動を感じることがあります。これは磁力線により鍋自体が振動するためで、異常ではありません。 • 鍋の位置をずらしたり、置き直したりすると音が止まることがあります。 • 左・右・中央ヒーターを同時に使用した場合、鍋の種類によっては調理中に共鳴音「キーン」や「キューン」という音がしますが、これも磁力線により鍋が振動するためで異常ではありません。
結露について	オーブンの排気口から出た水蒸気が壁面に結露することがある。	●調理時に排気口から出る水蒸気などが壁面につき水滴になることがありますので、ふきんなどでふき取ってください。
結露について	光センサー部が結露することがある。	●吸気口から直接蒸気を吸い込むと、結露することがありますが、しばらくするともとにもどります。
その他	自動炊飯や保温動作中に鍋をおろしても表示部に「鍋確認」と表示されない場合がある。	●自動炊飯や保温は火力を自動的に調節します。火力が0（ゼロ）Wになっているときに鍋をおろしても「鍋確認」を表示しません。自動炊飯を途中で中止する場合や保温を終了する場合は、上面操作パネル部の「切/スタート」キーを押して通電を切ってください。

	現　象	原　因
オーブンについて	オーブン調理中、庫内で瞬間的に炎ができたり、排気口から煙が出る。	●魚の脂などがヒーターの上に直接落ちると、瞬間的に炎や煙が出ることがあります。異常ではありません。 ●魚の脂などが受皿に落ちると、瞬間的に煙が出ることがあります。異常ではありません。 ●調理を始めてしばらくの間、前回の調理でヒーターについた脂が加熱されて、においや煙が出ることがあります。異常ではありません。
オーブンについて	オーブン調理終了後、タイマー表示部に CL 表示が出て、排気口から熱風が出る。	●調理終了後、ヒーターのクリーニングのため、下ヒーターと触媒加熱用ヒーター、ファンに通電します。（約5分間）
オーブンについて	オーブンで魚を焼いたときに排気口やオーブンドアの隙間から煙や水蒸気が漏れることがある。	●オーブン庫内の排気口には煙やにおいをおさえる触媒機能が入っていますが、魚などの調理物から多量の煙が発生した場合は触媒の能力を超えて排気口やオーブンドアの隙間から漏れることがありますが、故障ではありません。
レンジフードについて	レンジフードが回らない。 （レンジフードファン連動システム付のみ）	●送信部または受信部が汚れていませんか。 クッキングヒーターの送信部・レンジフードの受信部を掃除してください。（レンジフードの取扱説明書も合わせてご覧ください。）➔P.37 ●送信部に鍋などを置いていませんか。 鍋などを送信部から取り除いてください。➔P.37 ●送信部の上にフライパンなどのとってを向けていませんか。 フライパンなどのとっての向きを変えてください。➔P.37
レンジフードについて	クッキングヒーターのヒーターまたはオーブンの通電を停止しても、レンジフードが止まらない。 （レンジフードファン連動システム付のみ）	●レンジフードはクッキングヒーターすべてのヒーターとオーブンの通電を停止しても約3分間動作します。 すぐにレンジフードを止めたい場合はレンジフード「切」キーを押してください。 ●クッキングヒーターのいずれかのヒーターまたはオーブンの通電をしているとレンジフードは止まりません。 止める場合は、レンジフード「切」キーを押してください。

故障かなと思ったら（つづき）

	現象	原因
自動炊飯について	炊き上がったごはんがかたすぎる／芯が残る。	●米の量、水の量がまちがっていませんか。 正しくはかってください。➔P.23 ●炊く前に米を浸していますか。 通常30分以上、冬場は1時間以上浸してください。 ●炊くときにお湯を使用していませんか。 お湯を使用すると芯が残ります。 ●鍋の種類によっては、ごはんに芯が残るなど、うまく炊けない場合があります。 炊きかげんの設定を「強め」に調節してください。➔P.22
自動炊飯について	炊き上がったごはんがやわらかい。	●洗米後によく水を切っていますか。充分に水を切らないと炊飯時の水量が多くなります。 お米を研いだあとは、ざるに上げて充分に水切りをしてください。 ●炊飯後にふたをしたまま置いていませんか。湯気が露となって落ち、ごはんがベちゃつきます。 通電が終了したら、すぐにふたを開け、全体をほぐして余分な水分を逃がしてください。 • ふたをしておくときは、乾いたふきんをかけてからふたをしてください。
自動炊飯について	ごはんが焦げる、こびり付く。	●炊飯に適さない鍋を使うと、ごはんが焦げついたり、こびり付きやすくなります。（うす手の鍋、ホーロー鍋など） 必ず SG IH または SG CH·IH マーク付きで底の厚さ1.5mm以上の鍋をお使いください。➔P.12 ●無洗米は、焦げやすくなります。 残り10分で通電を切り、鍋をヒーターから外して蒸らしてください。 • こびり付く場合は、ぬれたふきんの上に置いて蒸らすと抑えられます。
自動炊飯について	ごはんが炊けていない。	●設定をまちがえていませんか。 炊飯メニューを使い、米の量に合わせてカップ数を正しく設定してください。➔P.22
適温サインについて	予熱時間が長い。通電が停止する。	●鍋底の直径が小さかったり鍋底が反っているフライパン・鍋は火力が弱くなる場合があるため、予熱時間が長くなります。またフライパン・鍋の温度が適温にならず通電を停止する場合があります。 （適温サイン）で使えるフライパンについて ➔P.12
適温サインについて	鍋の温度が低すぎたり高すぎる。	●鍋の材質・大きさ・形状・置く位置により鍋の温度が低すぎたり高すぎる場合があります。 （適温サイン）で使えるフライパンについて ➔P.12

	現象	原因
上面操作パネルについて	上面操作パネルの表示に CP と表示されてキー操作ができない。	●上面操作パネルに調理物がふきこぼれたり、水滴などが付着していませんか。 調理物や水滴などを取り除いてください。➔P.48 ●上面操作パネルに鍋などを置いていませんか。 鍋などを取り除いてください。➔P.48 ●キーを長押ししていませんか。 キーに約3秒以上ふれていても表示されます。➔P.48
上面操作パネルについて	上面操作パネルの表示に CP と表示される。	●上面操作部の（切/スタート）の上に調理物がふきこぼれたり、水滴などが付着していませんか。 調理物や水滴などを取り除いてください。➔P.48
上面操作パネルについて	CP と表示され通電が停止する。	● CP と表示されて約10秒後に停止します。 ●上面操作パネルに調理物がふきこぼれたり、水滴などが付着していませんか。 調理物や水滴などを取り除いてください。➔P.48 ●上面操作パネルに鍋などを置いていませんか。 鍋などを取り除いてください。➔P.48 ●キーを長押ししていませんか。 キーに約3秒以上ふれていても表示されます。➔P.48
上面操作パネルについて	上面操作部のキー操作ができない。	●指に指サックや傷テープ、手袋をしていませんか。 直接指でふれてください。 ●隣のキーに触れていませんか。 一個づつ操作してください。 ●上面操作パネルに物を置いていませんか。 物を取り除いてください。 ●上面操作パネルに調理物や汚れがこびりついていませんか。 トッププレートのお手入れをしてください。➔P.38 ●（切/スタート）を1秒以上の長押しをしていますか。 ブザーが鳴るまで押してください。
上面操作パネルについて	上面操作パネルの表示部の液晶が黒くなる。	●表示部の上に熱い鍋などを置くと液晶が黒くなることがありますが、しばらく放置するともとにもどります。 ※表示部の上に熱い鍋などを置かないでください。
上面操作パネルについて	上面操作パネルの表示部の液晶がくもる。	●吸気口から直接蒸気を吸い込むと、液晶がくもることがありますが、しばらくするともとにもどります。

故障かなと思ったら（つづき）

上面操作パネルに次の表示が出たとき

表示とお知らせ内容	確認するところ	直しかた
C11 C21 C51 左・右・中央ヒーター使用時、液晶表示が赤く点灯する。	●空だきになっています。 ●炒めものの調理を行うと表示する場合があります。	●鍋に調理物を入れてください。 ●火力を下げてご使用ください。
C12 C22 揚げもの温度コントロールを使用したら、左・右ヒーターの液晶表示が赤く点灯する。	●付属の天ぷら鍋の底に2mm以上の反りがあったり変形しています。 ●付属の天ぷら鍋の底やトッププレートに異物や汚れが付着している。	●反りや変形がある場合は新しい鍋をご購入ください。➔P.5 ●異物や汚れの場合はお手入れをしてご使用ください。
CP 左・右・中央ヒーター使用時、液晶表示が赤く点灯する。	●上面操作パネルに調理物がふきこぼれたり、水滴などが付着している。 ●上面操作パネルに鍋などを置いている。 ●キーを長押ししている。	●調理物や水滴を取り除いてください。 ●鍋などを取り除いてください。 ●キーを約3秒以上ふれないでください。
H15 H25 H55 左・右・中央ヒーター使用時、液晶表示が赤く点灯する。	●吸・排気カバーにほこりがたまっています。 ●吸・排気カバーがふさがれています。	●ほこりをふきとってください。➔P.39 ●ふさがないでください。
C14 C24 H17 H27 H57 左・右・中央ヒーター使用時、液晶表示が赤く点灯する。	●鍋の種類が違っています。	●鍋の種類を確認してください。➔P.12
C61 液晶表示が赤く点灯する。	●電源電圧が異常に高い場合や低い場合。	●お買い上げの販売店にご連絡ください。

表示が出たときは・・・

C11、C12、CP、H15、C14、H17の表示が出たときは左ヒーターの切/スタートを押す。

C21、C22、CP、H25、C24、H27の表示が出たときは右ヒーターの切/スタートを押す。

C51、CP、H55、H57の表示が出たときは中央ヒーターの切/スタートを押す。

上記以外の表示がでたときは、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。

上記の操作をすると表示が消えます。再度通電を行い、同じ表示が出たら、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。

前面操作パネルに次の表示が出たとき

表示とお知らせ内容	確認するところ	直しかた
C1 C3 C4	●通電したまま連続して魚を焼いた場合。	●いったん通電を切り、オーブン庫内の温度を下げてから、次の調理物を入れる。
C6	●電源電圧が異常に高い場合や低い場合。	●お買い上げの販売店にご連絡ください。

表示が出たときは・・・

C1、 C3、C4 の表示が出たときはオーブンの切/スタートを押す。

上記以外の表示がでたときは、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。

上記の操作をすると表示が消えます。再度通電を行い、同じ表示が出たら、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。

火力の目安について

左・右・中央ヒーター

火力の目安	バックライト色	火力	消費電力
ハイパワー	ア　カ	12	3.0kW
		11	2.6kW
強　　火		10	2.0kW
		9	1.6kW
中　　火	オレンジ	8	1.4kW
		7	1.1kW
		6	800W
弱　　火	キ イ ロ	5	500W
		4	400W
		3	300W
		2	200W 相当
と ろ 火	ミ ド リ	1	100W 相当

※消費電力は、鉄ホーロー鍋を使った場合です。
※中央ヒーターは火力「9」までです。
※相当とはヒーターの入/切による平均消費電力です。

メニュー

メニュー	揚げもの	湯わかし	保　温	炊　飯	炒めもの	ステーキ	煮 込 み
最大消費電力	1.5kW	2.5kW (2.0kW)	400W	1.1kW	2.8kW	2.8kW	500W

※(　)内、鉄・ステンレス加熱時